

## 2020年春ダイヤ改正の考え方について

2019年12月20日

あいの風とやま鉄道(株)

## 1. 基本的な方針

- (1) 利用実態に即した利便性の確保を図ります。
- (2) 現有車両及び新製車両の範囲内で効率的な運用計画を策定します。

## 2. 運行計画

## (1) 列車の新規設定

- ① 朝通勤・通学ご利用時間帯の利便性向上のため列車を新規設定します。
  - ア. 6:40分頃「富山発→黒部行」を新規に設定します。

## (2) 列車の増車

- ① 夕通勤・通学ご利用時間帯の混雑緩和を図るため増車します。
  - ア. 現行547M列車を富山～泊間で2両から4両に増車します。
  - イ. 現行566M列車を泊～高岡間で2両から4両に増車します。
  - ウ. 現行555M列車を高岡→富山間で2両から4両に増車します。  
※土休日は2両で運転します。

## (3) 接続の改善

- ① 富山駅での接続を見直しご利用しやすくします。
  - ア. 現行586M「富山21:54着」の時刻を繰り上げ、北陸新幹線はくたか575号「富山21:56発」、北陸新幹線はくたか590号「富山21:58発最終長野行き」へ乗換えが出来るようになります。
  - イ. 現行586M「富山21:54着」の時刻を繰り上げ、JR高山線878D「富山21:50発」へ乗換えが出来るようになります。
- ② 高岡駅での接続を見直しご利用しやすくします
  - ア. JR城端線356D「高岡20:15着」から現行471M「高岡20:16分発」へ乗換えが出来るようになります。
- ③ 泊駅での乗換え時分を短縮します。
  - ア. 現行435M「泊11:19着」からえちごトキめき鉄道線1635D「泊11:59発」への乗換え時分を短縮します。

#### (4) 列車の行先変更

- ① 富山駅での停車時分の短縮を図ります。
  - ア. 現行538M列車を「泊発→金沢行」から「泊発→富山行」として運行します。
  - イ. 現行540M列車を「黒部発→富山行」から「黒部発→金沢行」として運行します。

#### (5) 列車運転時刻の調整

- ① 富山駅での列車時刻を見直します。
  - ア. 現行532MとJR高山線850Dの時刻を繰り上げることで利便性を高めます。
- ② 富山～高岡駅間の列車の運転時刻を調整します。
  - ア. 現行1470D「富山22：15発」時刻を5分程度繰り上げることで前後の列車との運転間隔を調整します。

#### (6) 継続事項

- ① 大型連休や休日等の増車を引き続き実施していきます。
  - ア. 混雑が予想される現行538M列車を「富山～金沢間」2両から4両に増車します。
  - イ. 混雑が予想される現行439M列車を「金沢～富山間」2両から4両に増車します。

### 3. 今後のスケジュール

2020年	1月下旬	詳細ダイヤ発表
	3月14日(土)	ダイヤ改正